



特集.1

「尊い命」一匹でも多く助けたい!

(松山市)

認定NPO法人えひめイヌ・ネコの会 代表 高岸 ちはり

四国初の認定NPO法人

当会は、1994年4月に任意の市民団体として発足以来、不幸な犬猫をゼロにすることを目標として、動物愛護精神の普及と啓発を行ってきました。さらなる活動の進展と動物愛護を通じて社会に貢献するため、2002年5月NPO法人として、また2008年3月には四国初の「認定NPO法人」として新たにスタートしました。

設立と同時に始めたのが全国で愛媛県だけが行っていた「不要犬買上制度」の廃止要望の署名集めでした。皆さんの協力・理解により約二万名の署名が集まり、翌年この制度は廃止となりました。

その後も国や愛媛県内の各市町に対し、よりよい動物愛護行政を求めて、陳情・要望・提案を行っています。当初は、「前例がない」「動物より人が大事」と門前払いを受ける事も多々ありましたが、それにもめげずに長年活動を続け、認定を取得した事により、社会的信用も上がり、行政だけでなく、様々な団体・企業

さんより嬉しい協力やご支援を受けるようになりました。

新しい飼い主を探す活動

毎週日曜日の午後で開催している「犬猫の新しい飼い主探し会」を始めて22年になります。これまでに救えた命は、約4000頭になるでしょう。

22年前は、全国で90万頭以上の犬猫が殺処分されていましたが、今では殺処分数が10万頭に減少しました。

しかし、それでもその数は多すぎます。一匹でも多くその命を助けたいという思いや、活動が徐々に皆さんに理解していただけるようになり、「新しい飼い主探し会」の会場を医療法人天真会南高井病院さん、株式会社愛媛銀行さん、ひがし野真心庵さんに提供していただくとともに、イベント開催のポスター掲示や配布でもお世話になっていきます。

愛媛銀行さんとは「動物愛護推進市民の集(つどい)」の共催をいただき、愛媛県の県民の方々に命の大切さをお伝え

する活動を共にしています。



犬猫の新しい飼い主探し会

各機関をまき込んでのイベント開催、松山市との協働が始まる

全国で始めて、動物愛護団体が主催をする「ペットと一緒の防災訓練」を平成17年1月、松山市石井小学校で開催しました。

10年前は、災害が発生した際、一緒にペットを避難所に連れていく事を、まだ、みんなが考えてない頃でした。しか



し、阪神淡路大震災で被災した動物の多さに、その必要性を実感したのです。そこで、災害時は「ペット同行避難」を多くの人々に知ってもらおうと考え、各機関に協力参加を求め、愛媛県動物愛護センター、松山市保健所、動物病院、松山市消防局、石井公民館、婦人クラブ、石井地区町内会、石井小学校等に参加協力いただき、訓練を行いました。当時の松山市長には、犬の応急処置訓練も体験していただきました。この訓練から「ペット同行避難」の大切さを松山市が考えて下さり、同年の松山市総合防災訓練には「ペットの避難所」を設けることになり、えひめイヌ・ネコの会が担当する事になりました。



ペットのための避難所を担当しました

い、食事やトイレの管理をして、その猫一代で終わらせ、野良猫を0（ゼロ）にしようというものです。この活動は、



今年、大人の猫の新しい飼い主をさがす場として、松山市内に保護猫カフェ「ひめねこ」をオープンしました。猫の自然な姿をゆつくりと見てもらい、そしてふれあいながら猫の引取りを考えてもらえる場所です。カフェといながら飲物などの提供はしていません。代わりに猫達のキャットフード・猫砂代等にするため、来場者には500円の募金をお願いしています。カフェとなる場所も医療法人天真会南高井病院さんが提供してくれています。苦情のたえない飼い主のいない猫の対策として「地域猫活動」があります。地域の住民で野良猫の不妊、去勢手術を行い、

皆さんの理解、協働なしでは、動物愛護は広がらない

今年度、新たに取り組むのは、ペットの災害対策に係る協働啓発です。全国初のペット防災士を育成して、日頃の備えの啓発活動、地元企業や動物病院に災害時の協力調査を行います。この事業は、愛媛県、松山市保健所、愛媛県獣医師会との協働で行うことにしています。設立当初は、動物愛護だけを訴えていました。しかし、活動を進めていくうちに、動物が幸せになる為には人間を変えなくてはいけない、社会を変えなくてはいけない、その為には、様々な人や団体とつながることが必要だと気付きました。ご支援して下さいるお一人、お一人のご協力をいただきながら日々、小さな命を守る活動を行なっていきたいと考えています。

これからの活動について



町内会、行政、愛媛県獣医師会と協働して行っています。